



ソレイユニュースレター 発行日:令和2年7月15日 発行部数:1100部 発行人:石井 トシ子 編集製作:情報委員会
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター 〒252-0143 相模原市緑区橋本 6-2-1 (シティ・プラザはしもと内) TEL: 042-775-1775



ヌエック（国立教育女性会館） 初のオンライン研修を終えて



令和2年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン研修となりました。この研修のテーマは、「取組を加速する地域基盤づくり」です。職員が以下のとおり受講しました。

【基調講演】 男女共同参画が地域を持続可能にする

－『2017年度女性・地域住民から見た防災・災害リスク削減策に関する調査』を踏まえて－

（全都道府県と1171市区町村＜回収率64.8%＞）

講師 大沢 真理氏（東京大学名誉教授）

「備蓄や避難所の運営方針・設備が整っているのは、防災会議の女性比率が高い場合や、地域防災計画や避難所運営指針の策定に男女共同参画担当部局の参加・連携がある場合である。しかし、市町村では防災会議の女性委員比率は8%程度で、国の目標である30%に遠く及ばない。

また、防災計画や避難所運営指針の策定に男女共同参画担当が参加・連携した比率は、防災計画で48.3%と5割に満たず、避難所運営指針では17.5%にすぎない。

2016年4月の熊本地震では、関連死が直接死の4倍にもおよび、その3割が車中泊を経験するなど、避けられたかもしれない被害が少なくない。トイレをはじめ避難所の設備が改めて問われており、防災・減災分野の意思決定に男女共同参画を進めることが望まれる。」とのことでした。

【事前課題】 「相模原市の防災について

- ・相模原市防災会議の総委員数45名うち女性委員は5名（女性比率11%）
- ・相模原市の地域防災計画、避難所運営指針等の策定に、男女共同参画の所管を含め、市役所内の関連部署に意見聴取や内容確認を行ったうえで作成したとのこと。

【協力 相模原市危機管理課】

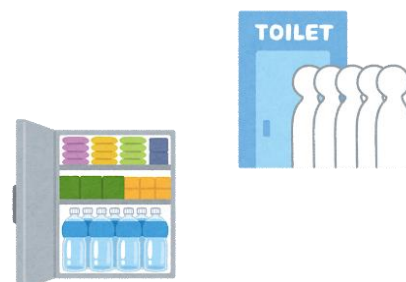
【職員の所感・感想】

- ◆「女性の視点」とは、「女性を持つ経験に基づく視点」ということを再確認した。
- ◆防災会議に女性委員が10%台いと、備蓄品（簡易トイレ、生理用品、調整粉乳、哺乳瓶、小児用おむつ、成人用おむつ、介護食、アレルギー対応食など）が充実するという調査結果を知り、災害時の要配慮者を守るためにも、防災会議等への女性参画は急務であることを実感した。

※要配慮者とは、高齢者、障害者、難病患者、乳幼児、妊産婦、外国人などの方（東京都防災ホームページから引用）

ソレイユさがみ職員 上村

I-4-5図 地方防災会議の委員に占める女性の割合の推移



【内閣府男女共同参画局ホームページから引用】

施設の利用再開のお知らせ!!

- ①入口の扉を開放するなどこまめな換気を行ってください。
- ②利用者間の距離をできるだけ 2 メートル確保してください。
- ③マスクを着用し、間近での会話や発声を控えてください。

《男女共同参画川柳コンテスト 2020》
募集のお知らせ!!

(昨年の各部、グランプリ作品です!)

(遠藤・小黑)